

狭基発第38号
令和8年10月20日

航空自衛隊入間基地司令
杉山 公俊 様

狭山市長 小谷野 剛



狭山市基地対策協議会

会長 岩崎 勝彦



入間航空祭における航空機の安全飛行の徹底について（要望）

清秋の候、貴職におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、令和8年9月17日付け入基第465号で通知のありました、令和8年度入間航空祭の開催につきましては、本年も各種自衛隊機による飛行が予定されており、航空機騒音の増大や不測の事態の発生も危惧されるものであります。

もとより、航空自衛隊入間基地は国防上、重要な役割を担うとともに、入間航空祭が周辺地域との相互理解を図るうえで貴重な機会であることは、十分認識しているところでありますが、その一方で、周辺住民の生活に少なからず影響を与えていることも周知の事実であります。

このことから、航空自衛隊入間基地を取り巻く市街地の状況等を考慮いただき、事前訓練を含む航空祭における飛行展示や曲技飛行につきましては、最小限にとどめるとともに、重大事故に繋がるおそれのある市街地上空での低空飛行は行わない等、周辺住民の生活への影響を最小限に抑え、安全飛行の徹底を図るよう強く要望いたします。

また、入間基地周辺の混雑が予想されることから、関係機関と連携を図り、渋滞緩和対策を講じるとともに、来場者等の安全確保を徹底するよう、併せて要望いたします。